

副市長レビュー（春）協議事項調書

1 部局名 (課名)	土木部 (道路企画課)
2 協議事項 (案件名)	次期「浜松市のみちづくり計画」の策定について
3 背景・現状 (現状把握で きる統計数 値など)	・現在の「浜松市のみちづくり計画」は、平成 29 年度から令和 8 年度までの 10 年計画であり、今年度は策定から 8 年目となる。 ・近年、自然災害の激甚化・頻発化により、本市においても道路災害が多発しており、災害に強い道路ネットワーク機能の強化が必要。 ・人身交通事故件数は、現計画策定時（平成 29 年度）から 4 割程度減少したものの依然として、政令指定都市人口 10 万人当りの人身交通事故件数は、ワースト 1（14 年連続）。 ・橋梁耐震対策は第 1 期計画である 104 橋の内 100 橋が対策完了だが、第 2 期計画である 257 橋は 21 橋のみ対策完了（令和 5 年度末時点）。 ※現みちづくり計画（平成 29 年度～令和 8 年度）では、15 橋の耐震化を計画しており、うち 14 橋を令和 5 年度末までに完了する計画であったが、3 橋について未完了の状況。 ・道路斜面对策は、要対策箇所 177 箇所のうち 91 箇所が対策完了。（令和 5 年度末時点）。 ・維持管理は、橋梁などの法定 5 施設の 1 巡目点検において判定Ⅲ・Ⅳの措置が全て完了し、2 巡目点検におけるⅢ・Ⅳ判定の措置も約 5 割が措置完了（令和 5 年度末時点）。 ・上記のように、道路を取り巻く環境が変化しており、今後の道路のあり方を見直す必要性が高まったことに加え、上位計画である浜松市総合計画次期基本計画が令和 7 年度から開始することを加味し、2 年前倒して次期「浜松市のみちづくり計画」を策定することとなった。
4 検討経過・課題	・上位計画となる浜松市総合計画次期基本計画が策定中かつ、第 5 回西遠都市圏パーソントリップ調査が実施中であるため、本計画の検討においては、それぞれの計画・調査の情報を把握し、整合を図る必要がある。 ・今後の道路事業における必要事業費については、増加に転じることも考慮した上で、必要な事業を見極めていく必要がある。
5-1 方向性の提案 (目指すべき姿)	・関係所属長等による庁内検討会を設置し、計画を検討。 ・学識経験者などの有識者から意見を伺い、検討を進める。 ・9 月議会において計画案、2 月議会においてパブリックコメントにおける意見の回答について報告予定で、特別委員会及び建設消防委員会の両委員会を視野に入れて調整中。 ・パブリックコメントは 10 月から 11 月に実施予定。
5-2 上記の方向性決定に向け議論する事項 (妥当性、必要性、有効性など)	・道路ネットワークの整備は、現計画の拠点間を移動しやすいみちづくりに加え、災害に強い道路ネットワークの強化の観点から方針を検討。 ・交通事故については、ワースト 1 脱出に向けて、ハード・ソフト両面からの方針を検討。 ・橋梁耐震化や道路斜面对策については、事業の加速化に向けた方針を検討。 ・維持管理においては、予防保全型へ本格転換するための方針を検討。

6 結果	☐ 提案どおり進める ☒ サマーレビューで審議 ☐ 提案内容を一部見直して進める ☐ 再度、調査研究等を行い検討 ☐ その他	具体的内容
7 その他		